

ネットゼロエネルギーハウス(ZEH)勉強会 実施報告書

平成 30 年 10 月 26 日

一般社団法人 ZEH推進協議会

1) 業務報告

(1) 開催概要

日時：平成 30 年 9 月 27 日（木） 13:00~17:00（開場 12:30~）

場所：ラ・プラス青い森 2 階 カメリア

(2) 式次第

- ・開会
- ・あいさつ
- ・講演①「ZEHのつくり方」
講師：布井 洋二氏（一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会）
- ・事例紹介「寒冷地におけるZEHの課題」
講師：須郷 裕貴氏（株式会社リアルウッド 代表取締役）
- ・休憩 10 分
- ・講義②「ZEH率 50%達成に向けて」
講師：小山 貴史氏（一般社団法人 ZEH推進協議会 代表理事）
- ・閉会

(3) 講義概要

・講演①「ZEHのつくり方」

ZEH の基本事項として、ZEH の定義・判断基準や構成要素のほか、経済性、健康増進等のメリットについて説明が行われた。また、ZEH に係る補助金やビルダー制度等の各種施策について紹介が行われた。

・事例紹介「寒冷地におけるZEHの課題」

寒冷地における ZEH の課題として、断熱・低日照・積雪の 3 点について取り上げ、課題解決に向けた県内ビルダーの工夫について、実際の施工事例に基づく解説が行われた。

・講義②「ZEH率 50%達成に向けて」

青森県における ZEH 普及の現状について説明があったほか、実際に小山講師が経営する工務店での ZEH 事業における失敗談の紹介と成功体験に基づく ZEH 提案手法の解説が行われた。

(4) その他

- ・テキスト製本
平成 30 年 9 月 21 日 80 部
- ・講師への謝金及び旅費支払日
平成 30 年 10 月 26 日

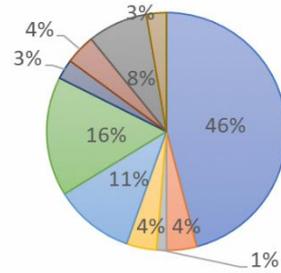
2) 写真記録



3) アンケート結果

Q1. 業種等をお知らせください。

選択項目	人数
1.建築一式工事業	34
2.大工工事	3
3.その他専門工事業	1
4.製造業	3
5.卸売業・小売業	8
6.建築設計業	12
7.その他サービス業	2
8.地方公共団体・各種団体等	3
9. その他	6
10. 無記入	2

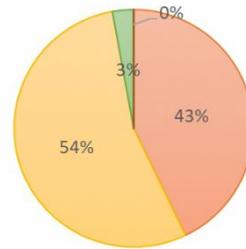


- 1.建築一式工事業
- 2.大工工事
- 3.その他専門工事業
- 4.製造業
- 5.卸売業・小売業
- 6.建築設計業
- 7.その他サービス業
- 8.地方公共団体・各種団体等
- 9. その他
- 10. 無記入

Q2. 勉強会の内容について

(1) 講義①: ZEHのつくり方

選択項目	人数
1.とても参考になった	30
2.参考になった	38
3.どちらともいえない	2
4.参考にならなかった	0
合計	70

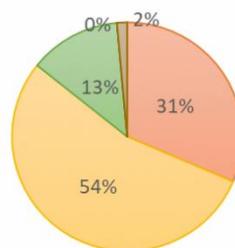


- 1.とても参考になった
- 2.参考になった
- 3.どちらともいえない
- 4.参考にならなかった

自由記述
くわしく聞きたい
品名や機種が具体的に知れたことがプラスになった
断熱の仕方以外皮の計算が違うのだと分かり、気を付ける点が分かり、勉強になりました
ZEHの施工物件（寒冷地限定）例の資料をもとにした講習があるといいと思いました
ある程度は分かっていたが、おさらいが出来た
ZEHに必要な住宅部品や計算法の概要を理解できた
補助金やBELSの確認ができました
とても参考になったと思いますが、もう少し時間をかけてほしいと感じた
資料の説明が分かりやすかった
もう少し計算の仕方の時間も欲しかった
一次エネルギーの計算を自分でもできるよう勉強したいと思う
灯油の消費が全国で1位なのには驚きました。ZEHの3地域内容が分かりやすい
ZEHのメリット、デメリットを改めて知ることができた
現在、ZEHメインで取組み始めたため
内容があった
地域での断熱材、仕様、厚さの目安
ZEH住宅の普及が必要だと痛感しました

(2)事例紹介:寒冷地におけるZEHの課題

選択項目	人数
1.とても参考になった	22
2.参考になった	38
3.どちらともいえない	9
4.参考にならなかった	0
5.無記入	1
合計	70

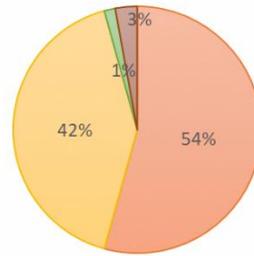


- 1.とても参考になった ■ 2.参考になった
- 3.どちらともいえない ■ 4.参考にならなかった
- 5.無記入

自由記述
分かりやすく丁寧に説明されていました
外皮性能・太陽光容量の実例
もう少し時間が欲しい。具体的な話をもう少し聞きたい
実例が参考になりました
今後、青森でZEHを普及するにあたっての問題点を知ることができ、その課題をいかに解決するかを考えさせられた
地場工務店の取り組み状況がきけてよかった
今後、太陽光の買取りがどんどん安くなるので提案するにあたり蓄電も含め、はっきりとしたメリットを感じられるよう蓄電池の補助金がいやすい値段になるといいなと思う
追跡調査があればもっと良かったと思います。(各データの)畳のスペースが問題となりそう
リアルウッド様の寒冷地事例のお話を聞きたくて参加した。限られた時間での講義のため仕方ないがもう少し時間が欲しい。太陽光における屋根への工夫はとても参考になりました
実例を聞くことができたのでとても参考になりました。
もう少し具体的な例が欲しかった(青森市街地内の)間取りプラン毎の削減率と補助金の可否なんかも知りたかった。カワサキさんの事例も聞きたかったです。
事例の詳細と複数事例の比較を紹介してほしいと感じた
NearlyZEHは増えると思うが青森県の県民所得が低いので、まだ難しく感じます
設計手法が分かり易かった
青森県の風土の違いによってのメリットなどもありそれをクリアするために実例を交えての説明は分かり易かったです

(3) 講義②: ZEH率 50%達成に向けて

選択項目	人数
1.とても参考になった	38
2.参考になった	29
3.どちらともいえない	1
4.参考にならなかった	2
合計	70

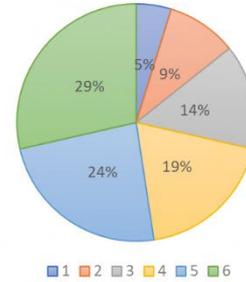


■ 1.とても参考になった ■ 2.参考になった
■ 3.どちらともいえない ■ 4.参考にならなかった

自由記述
具体的であり問題点がよく把握できました
提案手法（あと説明）エコワークス様の事例
ビルダー向けの講義ではあったが、とても興味深く内容も分かりやすかった。2030以降の話が面白かった
広い話と深い内容でした
ZEHのメリット
50%達成に向けてのノウハウがとても為になりました。青森でのデータを元にした説明がとても伝わり易かった
大変分かり易かった
具体例で説明して頂けたので、すぐ実践で使えると思います。社内教育の重要性を再確認させられました
とても参考になりました。小山先生のしくじり体験からロジックに基づいた講演内容はとりいれていきたいです
ZEHの売り方という部分でとても参考になった
青森県のZEH普及状況を知る事ができた。「あと説明」について勉強になりました
とにかく分かり易かった。取り組むべきことが整理できた。屋根形状について無落雪屋根を十分理解している方のデータや説明を聞きたい。市街地（青森市や弘前市）での雪問題、隣地との雪トラブルをクリアした上での事例をたくさん見たい。敷地面積など。無落雪屋根対応パネルメーカーの話や保証などもメンテナンス費用等含めての実例が知りたい。
すまいづくりにおけるZEHの位置づけ県内における太陽光発電の有効性を認識できてよかった
所得が増えないと新築は増えないかもしれない。（お金がかかる、リフォームや中古住宅が売れると思う）
経験談を基にした話はとても参考になりました。
ZEHの考え方としてユーザーはZEHを必要としない事が多いと思われる。しかし資料にある「ZEHは目的ではなく結果」の文で暮らしやすい家を作る中でZEHのメリットが暮らしの中でプラスにつながることで、ZEHの必要性が分かる
データがあったので分かり易かった

Q5. ZEH関連分野へ事業を展開するにあたり、課題として認識されていることはありますか？

選択項目	回答数
1.省エネ（高断熱・高効率設備）に関する知識	23
2.創エネ（太陽光発電設備）に関する知識	24
3.躯体設計に係るスキル（一次エネルギー消費量算出を含む）	20
4.顧客への提案手法（資金計画の策定含む）	30
5.行政上の手続き（補助申請、ビルダー登録等）	29
6.その他	0



自由記述
コストパフォーマンス、コストUPをどうはばめるか。企業努力は限界かも
消費量計算をもっと勉強したい
ZEHを普及させるために補助金枠を増やすことが大事だと感じました
行政の手続きなどを詳しく教えてもらいたい
ZEH+のハードルを下げしてほしい。抽選にしたらどうですか？
一般への理解・浸透・工務店の取組み、意識
青森のような環境でのZEH普及
住宅設計はあまり行わないので説明、質疑で感じた課題として、ZEH、ZEH+などを担当する行政が3省で行いますが、各省でのZEHを申請する際、企業の申請件数は決められていると話されていましたが、省ごとの連携が取れてなければ3省で申請できる件数が増えるだけであまり改善されないのではないのでしょうか

Q6. ZEH勉強会に対するご意見、ご感想などございましたら、ご自由にお書きください。

自由記述
とても勉強になった
太陽光は青森の雪でもメリットがあることをPRしなければZEHは理解しにくいのではないのでしょうか？
これまでのZEH勉強会は補助金や国の政策、メーカーの商品説明が多く、今回は「顧客への提案手法」についても事例を基に学びました
お客様への提案の仕方を具体的にお聞きできたので大変勉強になりました
太陽光にメリットを正直感じてはいなかったが、小山先生の話聞き再度メリットを自分なりにまとめてお客様へ提案していきたい
高性能住宅＝健康寿命UPの市民向けセミナー開催を希望します
もっともっとやってもらいたい
「今のままでよい」と外皮性能向上など取組まない、興味をもたないビルダーが多い。一般のお客様も「コスト高」になると「普通でよい」との話も多い。ユーザー、サブユーザーともに意識の変化が必要だと思います
ZEHの説明、推進には新築は勿論だが、改築の方が取組みが難しい。改築を推進するするとすれば工務店経営だけでなく板金リフォーム業者、外壁塗装業者を含めた建設業者を国全体で推し進めるべきだと思う。ビジネスチャンスは多くの業者にある
太陽光の必要性を十分に認識しました
施主もZEHやりたい。工務店もOK。でも金銭的（経済的）な条件以外での理由でどうしても効果がない場合はどうなのか。例えば、土地面積が30坪しかなく南面に隣地3階建てが建っている場合にはあきらめるべきなのでしょう。立地条件的にこういうケースだったら・・・太陽光をやめた方がよいというものを知りたいです。